

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協立いつくしみの会	代表者	石山 建治	法人・ 事業所 の特徴	サービス付き高齢者向け住宅ぽろかとデイサービスののかが併設しています。家庭的な雰囲気の中、利用者さん同士、職員との顔なじみの関係が作れるよう支援しています。ご本人の好む事、やりたい事を探しながら一人ひとりに合わせた活動を提供しています。周囲は住宅街で小学校や児童会館が隣接しており子供たちとの交流や町内とのつながりを大事にしています。
事業所名	小規模多機能ホーム かりぷ	管理者	松田 梨香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	2人	1人	0人	2人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			職員 13 人全員で取り組んでいるのを確認した。	
B. 事業所のしつらえ・環境			夜間の防犯以外では玄関に鍵をかけていない。	
C. 事業所と地域のかかわり	ぽろかカフェやサロン、介護相談会などで地域の方との交流を行っていく。	ケアセンター上野幌夏祭りやぽろかカフェで地域の方に来て頂く機会を作りました。隣接する小学校の下校時の見守り活動も行いました。	地域に知られているか、相談しやすい場所か、わからないが、職員が挨拶や地域の行事・イベントに参加している。	ぽろかカフェ開催や地域の行事・イベントなどへの参加から地域交流を継続し顔のつながりを増やしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			運営推進会議で利用者さんが地域の行事・イベントに参加していることが報告されている。	
E. 運営推進会議を活かした取組み			会議の中で地域の心配な方について経過を追って議題に上がっていた。ゴミ捨てや除雪などの地域課題も共有した。	
F. 事業所の防災・災害対策	地震の避難訓練を実施する。町内会との防災協定を結んでいするため地域の防災対策を知る。	町内会の防災用品はノホロ公園の物置にある。断水時は厚別競技場近くに貯留水がある。ノテ福祉会新札幌の里にも地域交流スペースがあり非常食などの防災用品が保管されている。	第4町内会との防災協定はあるが日頃から何かあった時にどうするのか話し合いを持つことが重要ではないか。	町内と防災・災害時に支え合える関係作りのため地域課題を共有する。